

西区那古野学区

災害避難行動マップ

災害時に役に立つもの

1. コンビニエンスストアなど

このステッカーが貼ってある店舗は、「災害時帰宅支援ステーション」として、公共交通機関が不通となった時、徒歩で帰宅しようとする人々を支援する店舗です。トイレや避難スペースの提供など災害時に可能な範囲で支援協力が得られます。

2. 公衆電話

NTTが設置する公衆電話は、災害時には優先的につながり、状況に応じて無料になります。ただし、国際電話は使えません。

3. 下水道直結式 仮設トイレ

マンホールに直結できる仮設トイレです。避難所のトイレ不足を補います。



4. 地下式給水栓

給水を確保するための設備で、使用時に必要な道具は小学校や中学校に保管してあります。



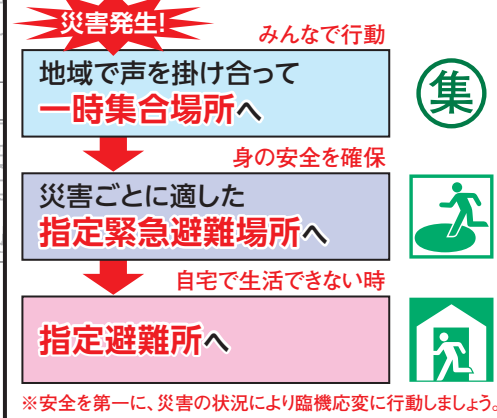
地域防災協力事業所 災害時に地域に対して支援協力してくれる事業所です。

番号	名称	提供内容
①	愛昇殿LEXT-社- 那古野	停電用対策物資(ろうそく)の提供
②	名古屋プライムセントラルタワー	災害用物資保管場所の提供
③	特定非営利活動法人 白働塾	一時的な避難場所として施設の一部提供、AEDの貸出
④	一般財団法人 愛知菓子会館	一時的な避難場所の提供、避難者への厨房設備の使用など
⑤	メタウォーター株式会社名古屋事業所	飲料水、非常食の提供
⑥	学校法人名古屋医療秘書福祉専門学校	一時的な避難場所として施設の一部提供など
⑦	専修寺名古屋別院	一時的な避難場所の提供

気をつけて！

- ・空家 耐震性が低いと倒壊しやすく、無人のため火災延焼の危険性あり
- ・古いブロック塀 大きな地震により倒壊する危険があるため近づかない
- ・狭い道 近くの家が倒壊した時、道がふさがれて通りにくくなる可能性あり
- ・電線 切れた電線は停電時でも感電の危険があるので、絶対に近づかない

避難行動の流れ



※安全を第一に、災害の状況により臨機応変に行動しましょう。

※上畠1、2、プライムセントラルは直接、旧那古野小に避難

町内会の一時集合場所

指定緊急避難場所

指定緊急避難場所	指定避難所
旧那古野小学校	洪水・内水はん濫・高潮 2階以上
那古野コミュニティセンター	地震の揺れ グラウンド
第三幼稚園	洪水・内水はん濫・高潮 2階以上

指定避難所

- 旧那古野小学校
- 那古野コミュニティセンター
- 第三幼稚園

凡 例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 一時集合場所
- 地域防災協力事業所
- 自治会倉庫
- 地下式給水栓
- 下水道直結式仮設トイレ
- 公衆電話
- AED
- 街頭消火器
- 狭い道
- ブロック塀
- 空家
- 避難経路の例

火災時 広域避難場所 名城公園

商店街アーケード部品の落下に注意

地震への備えと対応

日頃の備え

- 家具の転倒防止など耐震対策はできていますか
- 食料・飲料など非常持出品などの準備はできていますか
- 隣近所と顔の見える関係づくりをしましょう
- 日々災害が発生した場合のシミュレーションをしてみましょう
 - ・自宅内の棚や窓ガラス等から身を守る場所はどこか
 - ・自宅周辺の危険物・高い場所・広い場所は何かあるか
 - ・家族との連絡方法を確認(災害伝言ダイヤルやSNS等)

激しい揺れ

(あわてない! 冷静に)

- 机の下などで頭を守り揺れがおさまるまで待つ
- 安全に消せる場合は火を消す
- 家具や家電の転倒や落下、ガラスの破片などに注意



揺れがおさまった

- 火の元の確認、電気のブレーカーを落とす、ガスの元栓を閉める出火したら逃げ口を背にして初期消火
- 家族の安否・自宅の状況を確認
- 非常持出品の用意や避難の準備



組内で安否確認・救助

- 隣近所に声をかけて安否確認
- 生き埋め者の救助活動・ケガ人の手当
- 助けが必要な場所に応援を求める



一時集合場所へ集合

(安否情報を持ち寄る)

- 町内の安否確認、被害情報の共有
- 救助活動や避難支援の協力



指定緊急避難場所へ避難

ブロック塀や建物の倒壊に注意し、安全なルートを通ってできるだけグループで避難

表のマップを参考に記入しましょう!

余震が続くとき



- 小学校のグラウンドなど屋外の広くて安全な場所

火災が発生したとき



名城公園

- 広域避難場所など火災の延焼から身を守ることができる場所

震災の危険解消

自宅での滞在が可能か

在宅避難

指定避難所

自宅に住めない状況って?

- 家が倒壊、または余震で家が倒壊しそう
- 家中に物が散乱していて動くと非常に危険など

自宅に住めるなら、なるべく自宅で避難生活を!

避難所は多数の方が避難生活を送るため、大きな負担がかかることや、感染症のリスクが高まることが想定されています。倒壊などの危険がない場合は自宅で避難生活を続ける「在宅避難」を考えましょう。



風水害への備えと対応

風水害時の行動

台風が発生した 情報収集

- テレビ・ラジオ・スマホなどから台風の規模、予想進路、到達する時間や川の水位などの情報を入手
- 非常持出品の確認

台風や大雨が来るぞ!! 準備

- ハザードマップで指定緊急避難場所や浸水想定区域等の確認
- 家族との連絡方法の確認
- 家の周りの飛ばされやすいものや、流されやすいものの片付け
- 土のうや水のう、側溝の詰り除去等の浸水対策
- 町内や組長との情報共有や連絡手段の確認をする



雨足が強くなってきた!! 避難の判断

- 情報収集を続けて、避難開始時期を判断
- テレビ・ラジオ等 緊急速報メール 防災スピーカー 広報車等
- 避難情報の発令前に指定緊急避難場所(小学校など)へ自主避難する場合には、事前に区役所へ相談する

- 洪水・内水氾濫・高潮の想定浸水深より下の階にいる
- 家屋倒壊等氾濫想定区域にいる
- 浸水継続時間が3日以上地域にいる

どれか一つ以上該当する

該当しない

避難情報発令で避難開始!

警戒レベル	名古屋市から出される避難情報	とるべき行動
5	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保 必ず発令されるとは限りません	命の危険 直ちに安全確保
4	ひなんしじ 避難指示	危険な場所から 全員避難
3	こうれいしゃどう ひなん 高齢者等避難	避難に時間のかかる 高齢者や障害のある人などは 危険な場所から避難

※警戒レベル1、2は気象庁が発表する注意報など

浸水被害を軽減するために

側溝・雨水枡の清掃

排水溝の入口に落ち葉やごみがあると道路冠水の原因になります。定期的に側溝や雨水枡の清掃を行いましょう。



家財の移動

浸水から守るため、電化製品や貴重品、食料や生活用品など、あらかじめ高い場所へ移動させておきましょう。



簡易水防工法

浸水が浅い初期であれば、土のうや水のうを使った簡易水防工法で家の中への浸水を遅らせたり、防いだりすることができます。事前に準備しておきましょう!

止水板による工法

長めの板と土のうを使用します。



簡易水のうと段ボール箱による工法

土のうや水のう(45リットル程度のごみ袋を二重にして、中に半分程度の水を入れたもの)を段ボール箱に入れて、レジャーシートで巻き込み、使用します。

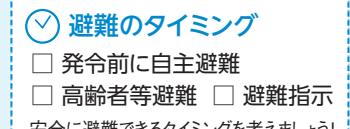
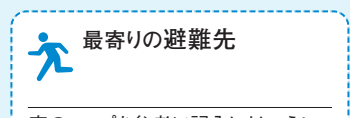


台風の接近前や大雨の前に行います。危険が迫ってきたら速やかに避難を!

自宅などにとどまる

避難時の注意点

- 1 ひも付き運動靴で! 長靴は危険です!
- 2 隣近所に声をかけて、地域で助け合いましょう!
- 3 移動するときは、傘や長い棒などで足元を確認!
- 4 水かさが増してきたら、無理せず最寄りの高い所へ



地震・風水害共通 備蓄物資・非常持出品の準備

避難生活に必要なものを備蓄

電気やガス、水道などが止まっても生活できるように**7日分程度**、家族の人数も考慮して備蓄しましょう。

- 非常食、常温で保存のきく食品
- 飲料水(ひとり1日3リットル)
- 持病の薬、常備薬
- トイレ用品
- 燃料(カセットボンベなど)



命を守るために必要な持出品を用意

いざというときすぐに持ち出せるように、3日分の食料や衣服など必要なものをリュックなどにいれて用意しましょう。

